

【2022 年オーバーナイトハイク アンケート結果】

「部会」について

- 開始時刻だけでなく終了時刻もなるべく早めに通知してほしい
- zoom でのリモート開催は苦勞があったと思いますが割と良かったと思うので今後も続けてほしい。
- なかなか時間が取れなかったと思うが、最初の頃にみんなの顔と名前が一致するようなアイスブレイク的なことが出来たら良かったと思う。
- 活発な意見交換があって良かった。事前にレジメがあったことで、皆がその日の部会で話し合うべき内容について把握できていたことは良かった。毎月の固定した開催はいいと思うが、第 4 日曜以外は検討できないものでしょうか？
- 長く感じます。人数が多いので、部会で論議して結論出すのは難しく、意見出た後は、執行部で引き取るようにするなど、論議の進め方を工夫出来ると良いと思います。また、入口で、各人に細かく記入させると、行列長くなるので、名簿は会議中に回して書いてもらう方式が良いと思います。
- 先日の部会でも出たように、みなさんそれぞれの考えがあると思いますが、どこでも本部がブレないことが一番だと思います。部会で決まったことを次回どちらでもいいです。となると一年目の私は迷ってしまいました。他の担当の話も聞けるとありがたいです

【まとめ】

- ◆開始時間と終了時間を明確にする
- ◆zoom を引き続き使用
- ◆できる限り第4日曜に偏らないようにする
- ◆住所氏名記入はセンターからの指示。今後それが必要な場合は会議中に回すようにする。
- ◆議事録をいつでも閲覧できるように整備する。
- ◆アイスブレイクとしてグループワークを始動前に取り入れてみる

「下見」について

- 4 回は執行部の負担が重すぎるのと、そこまで万端の準備をしないといけない時点で、負担が重すぎるイベントになっている
- 下見自体が楽しかった。下見にも中学生を部分募集して参加させてみるのはどうか。中学生との同行の練習にもなるし、中学生は ONH の練習や当日参加できないけど下見なら参加できるという人にもチャンスが増える。最初は知り合いの中学生だけにして、なれてきたら下見会ごとに募集の学区を順番に回していくとか。もう 1 つのアイデアとして、下見の回数はもう少し増やしても良いのでは。例えば通年で 1 ヶ月に 1 回開催するとか。一番のボトルネックである同行協力者が練習参加できる機会も増やせ、青少年相談員視点では同行協力者をどんどん活動に引き入れるチャンスにもなる。
- 下見以外にも少し気軽に参加できる短距離のウォーキング練習会のようなことが出来たら良い
- 懇親会も兼ねた下見会はどうか？（希望者のみ）

【まとめ】

- ◆下見が大変なので減らしてほしいという意見がある一方で増やした方がいいという意見もあり。
 - 減らす メリット・・・準備の負担がない
 - デメリット・・・道を覚える機会、多くの人に参加してもらう機会が減る
 - 増やす メリット・・・道を覚える機会、多くの人に参加する機会が増える
 - デメリット・・・準備の負担増⇒運営側の人間を増やす。
- ◆「下見」以外の歩く機会を設ける？

全体を通して

- 募集チラシに「同じ学区の人たちと歩きます(他学区とは別になります)」という一言を追加しておいてほしい
- 同行協力者を、柏市内から一般募集しても良いのでは。広報や町内会などに呼びかけて募集すれば、もう少し集まる。通年や3年での活動は厳しいけどイベントへの随時協力ならやりたいという人は一定量いると思う(以前の自分がそうだった)。
- ONH を年1回の大イベントにするのではなく、春秋開催などの年複数回にしたらどうか。このイベントに参加してみたい中学生は多数いるので、機会を増やしてあげたい。青少年相談員としての活動ももう少し中学生や子ども達との接点を増やしたい。その場合距離を短くしても良い。また運営の抜本的な簡素化が必要と思う。
- 学区説明会、時間が無く、時間内に説明できませんでした。動画を作っていたのでプラスしてそれ(説明動画)を流すとしたらどうか？人も少人数でできる。(受付・動画・質問タイム・資料配布)
- 申込が、0 や一桁の学区がいくつかあり、子ども達にとって本当に楽しみなイベントなのか疑問(良い経験なのは、間違いなし、申込の多い学区もあるので宣伝の問題かも知れませんが)
- バイク隊を廃止するという考えはやめてもらいたい、子供の安全を第一に考えてほしい。
- 中止連絡について、今時直電での連絡手段に不満。見知らぬ電話には普通出ない。SMS、メール等に変更希望。
- 参加人数については、学区内の同行協力者の人数にあわせて、上限を設定するべき。

【まとめ】

- ◆4グループに分かれて学区ごとに歩くことなどを募集チラシに載せる
- ◆同行協力者の集め方。今は相談員の人づて。「公募」する方法の検討？
- ◆簡素化・抜本的な改革(距離を短くする？ 募集人数減らして小規模にする？)
- ◆執行部に携わる人を増やす
- ◆学区説明会で説明する内容の動画を作る？
- ◆37年前と今では取り巻く環境が違う。「変えるところ」「変えないところ」はどこか
- ◆中止の際の「電話連絡(メールではなく)」は行政からの要請
- ◆小雨でも開催できる ONH にする